



安全装備品と消防団活動



熊本県阿蘇市



火の子ちゃん



熊本県阿蘇市



あか牛くん

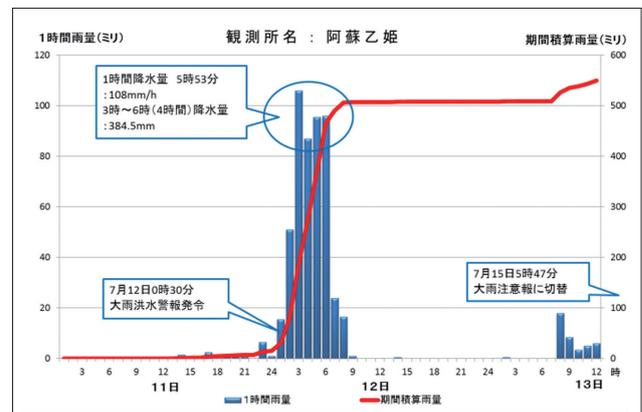
1 はじめに

一の宮町、阿蘇町、波野村の3町村が合併し、平成17年2月11日に誕生した阿蘇市は、九州のほぼ中央、熊本県の北東に位置し、東西約30km、南北約17km、面積は約376km²です。

地形は、阿蘇五岳を中心とする世界最大級のカルデラや広大な草原を有し、比較的平坦地の多い阿蘇谷と、起伏に富み傾斜地の多い阿蘇外輪地域で形成されています。気候は、年平均気温が約13℃で、年間降水量は約3,000mmです。四季を通じて比較的冷涼で多雨な地域であるため、平坦地では稲作を中心とした農業が盛んであり、山間地では高冷地野菜の生産に取り組んでいます。

2 九州北部豪雨の概要

平成24年7月12日は、未明から雷を伴った激しい豪雨になり、24時間で493mmの降水量となりました。午前5時までの3時間に288.5mm、午前6時頃には1時間に108mmを記録、いずれも観測史上1位を更新し、想定を遥かに超えた数時間にも及ぶ豪雨となりました。この記録は、あくまでも観測点での数値であり、山際の被害が激しかった地域での時間雨量はもっと多かったものと思われます。まさに气象台でも表現されたように「これまでに経験のないような」状況でありました。これは発達した梅雨前線と上昇気流が発生しやす



災害発生時の時間雨量と累加雨量
(出典：熊本气象台災害時気象資料)

い阿蘇カルデラの特殊な地形が大きく影響したのもと思われます。

この豪雨により、阿蘇市では各地で、大規模な土砂崩れが発生し、21名の方々が亡くなられ、依然1名が行方不明となっています。

同時に、阿蘇市を横断する一級河川「白川水系」の支流である黒川が氾濫し、河川沿いの多くの家屋が浸水しました。家屋被害は、阿蘇市全体で全壊約70棟、半壊及び床上浸水約1,100棟、床下浸水が約400棟にも上ります。また、山腹崩壊が300箇所以上、その他農業及び畜産関係、商業関係、主要道路、公共施設など甚大な被害となりました。



不明者捜索活動



林地の崩壊



草地の表層崩壊



消防団による避難誘導

3 阿蘇市消防団の紹介

阿蘇市消防団は平成17年2月11日に3町村の合併に伴い現在の組織となり、12分団28部72班で構成され、条例定数834名に対して現在795名(団長1名、副団長3名、女性消防団員13名含む)の団員数となっています。また、ポンプ車4台、小型動力ポンプ付普通積載車52台、小型動力ポンプ付軽積載車18台、計74台の消防車両等により活動を行っています。

4 九州北部豪雨災害での消防団活動

消防団員については午前3時頃に出動要請を行

い、それぞれの受け持ち地域の警戒活動を行いました。午前4時には避難勧告及び避難指示の発令に伴い警戒活動及び避難誘導、また午前5時頃から6時頃にかけて土砂崩れ等の発生に伴い救助活動や土砂撤去作業を行っています。翌日以降も不明者の捜索活動、巡回パトロールや夜間待機など、多岐にわたり昼夜を問わず活動しました。

消防団資機材については、活動中に車両11台が浸水、1台が流失被害に遭い、7台の買替えを余儀なくされています。このような中、幸いにも消防団員にケガ一つ無く、被害が無かったのには安堵しているところです。



浸水状況(激しい水の流れ)



活動の打合せの様子

5 安全装備品助成を利用するに至った経緯

先に紹介したとおり、雷を伴った100mm級の豪雨が数時間続き、黒川河川も瞬く間に増水し、住民の方も避難する余裕も無い状況であり、多くの方が浸水により孤立していました。消防団員は、常備消防とともに孤立した方を救助するため、腰まで水に浸かりながら、またボートを使うなど懸命の活動を行っていました。しかしながら、流れが速いため団員自身も流されそうになったり、ボートも思うように操作できず、活動は困難を極め、命の危険を感じたという団員もあり、一歩間違えれば流されて最悪の事態に至った可能性は多分にあったと考えます。

これまで、山間部ということで、これ程までの

浸水被害を想定していなかったことから、水防に関する装備品を保有しておりませんでした。今回の経験を踏まえ、消防基金の安全装備品整備等助成事業によりライフジャケットを配備することで有事の際に備えるとともに公務災害の防止を図ったところですが、今後は団員の安全確保に大いに役立つものと思います。

6 おわりに

今回、消防基金の安全装備品整備等助成事業によりライフジャケットを配備することができましたが、今後も消防基金への要望とともに、様々な安全装備品の充実を図り、消防団員の公務災害防止に努めていきたいと考えています。



安全装備品（ライフジャケット）



五岳くん